

## 御手洗の歴史 ～隠れた幕末動乱の舞台～

江戸時代、この辺りの地勢が「潮待ち・風待ち」に適した天然の良港として注目されたことから、寛文6年(1666)、広島藩が町割りを行って「御手洗」が誕生しました。同じ頃、北前船の西廻り航路も整備され、千石船などの大型船が往来するようになった御手洗は、港町として急速に発展しました。

幕末、兵の近代化を図った広島藩は、軍艦や洋式銃を購入するため、御手洗で薩摩藩との密貿易を開始。後に長州藩も交易に加えた広島藩は、慶応3年(1867)9月に「薩長芸軍軍同盟」を締結します。そして、大政奉還で混乱する京に兵を送るため、同年11月、広島藩と長州藩の艦隊が御手洗に集結。軍事協定「御手洗条約」を結び、共に上洛しています。

江戸時代に繁栄し、幕末動乱の舞台ともなった御手洗。お茶屋や船宿、町屋や史跡の数々に、当時の面影が窺えます。



潮待ち・風待ちで賑わった御手洗港(明治時代) 江戸時代から残る千砂子波止と高燈籠

## 御手洗(大崎下島)へのアクセス方法



### 広島・呉方面からのアクセス

- **お車をご利用の方**  
広島から約2時間、呉から約1時間。安芸灘大橋(有料)経由。
- **バスをご利用の方**  
**さんようバス(高速バス)**  
広島バスセンター又は広島駅から約2時間。呉駅前バス停から約1時間30分。広駅前バス停から約1時間。「御手洗港」バス停下車。  
**瀬戸内産交(生活バス)**  
広駅前バス停から約1時間30分。「御手洗港」バス停下車。

### 竹原・大崎上島方面からのアクセス

- **高速船をご利用の方**  
竹原港から約40分。「大長港」下船後、徒歩約10分。
- **お車でフェリーをご利用の方**  
竹原港～白水港を乗船。大崎上島を横断し、明石港～小長港を乗船。

### 今治方面からのアクセス

- **お車でフェリーをご利用の方**  
今治港又は大三島の宗方港から乗船。「岡村港」下船後、車で約15分。

**1 お好み焼き Kazuki**  
お好み焼き600円 他  
TEL 0823-66-3895  
営業 11時～14時・17時～21時(木曜定休)

**2 御手洗休憩所**  
観光ガイド2,500円(30名まで1組様)～  
TEL 0823-67-2278  
営業(平日)10時～16時(土日祝)9時～16時30分(火曜定休)

**3 潮待ち館 (重伝建を考える会事務局)**  
絵馬・お土産・雑貨・喫茶 他  
TEL 0823-66-3533  
営業 10時～17時(不定期休)

**4 鍋焼きうどん尾収屋 (潮待ち館内)**  
鍋焼きうどん770円～ 他  
TEL 080-6431-7016(西平)  
営業 11時～15時(日・祝日営業)

**5 ArtLab KITANI**  
蔵を利用したアートスペース  
TEL 090-1357-2290(田中)  
不定期営業

**6 The Tea Cosy**  
クリームティーセット900円 他  
TEL 0823-67-2015  
営業 11時～16時(月～水定休)

**7 たるます**  
お抹茶セット450円 他  
TEL 090-7541-5405(田原)  
営業 10時～16時(土・日・祝日営業)

**8 新光時計店**  
時計・メガネの販売、修理  
TEL 0823-66-2429  
営業 8時～18時(不定期休)

**9 御手洗昭和館 (玩具ミュージアム)**  
入館料一般300円・小中学生200円  
TEL 0823-66-5005  
営業 10時～17時(火曜定休)

**10 みはらし旅館/みはらし食堂**  
4,000円～/ラーメン500円 他  
TEL 0823-66-2056  
営業 11時～13時30分・17時～21時(日曜定休)

**11 薩摩藩船宿跡 脇屋**  
各種雑貨300円 他  
TEL 090-4483-3141(井上)  
営業 11時～16時(不定期営業)

**12 GUESTHOUSE 醫/Bar 醫**  
3,630円～/かき氷660円 他  
TEL 070-2365-8924(矢野・井上)  
営業 16時～翌9時30分(木曜定休)

**13 閑月庵 新豊**  
88,000円(2名様)～  
TEL 090-4483-3141(井上)  
営業 15時～翌11時(定休日なし)

**14 SEAFRONT DINING 新豊**  
新豊四季御膳等2,750円 他  
TEL 090-2863-4104(篠崎)  
営業 11時～15時(土・日・祝日営業)

**15 なごみ亭**  
あなごめし1,980円  
TEL 0823-66-3558  
営業 11時～14時(土・日・祝日営業)

**16 古布・ちりめん 布あそび**  
人形、小物  
TEL 090-7994-7785  
営業(第1・3)10時～16時(第2・4)10時～13時(火曜営業)

**17 船宿カフェ若長 市文化財**  
檸檬ぜんざい550円 他  
TEL 090-4483-3141(井上)  
営業 11時～17時(土・日・祝日営業)

**18 みたらいギャラリー**  
アート作品展示販売(入場無料)  
TEL 090-1357-2290(田中)  
営業 11時～16時(土・日・祝日営業)

**19 航 watari せとうち本店**  
瀬戸内ゼいたく丼2,970円 他  
TEL 0823-66-4343  
営業 11時～15時(不定期休)

**20 航 watari**  
一日一組限定の島宿  
77,000円(2名様)～  
TEL 0823-66-4343(定休日なし)

北前船とともに栄えた港町

# 御手洗

Time Travel in Mitarai



重要伝統的建造物群保存地区

潮待ち、風待ち、港町  
江戸時代の中継貿易港御手洗には、人が集い、物が集まり、文化が育った。町には江戸から明治、大正、昭和初期にかけて建てられた貴重な建物が混在している。そんな栄華の面影が、現代に日本文化を伝えてくれる。



発行 御手洗重伝建を考える会  
<http://mitarai.org/>



**P** 無料  
至約100m先  
市営かもの駐車場

**P** 有料



鶴亀の浮彫

千砂子波止



**A** 旧柴屋住宅 無料  
町年寄・庄屋役の高橋家(屋号柴屋)の別宅。文化3年(1806)、伊能忠敬が島の測量のため滞在した。その測量の様子が「御手洗測量之図」として残されている。



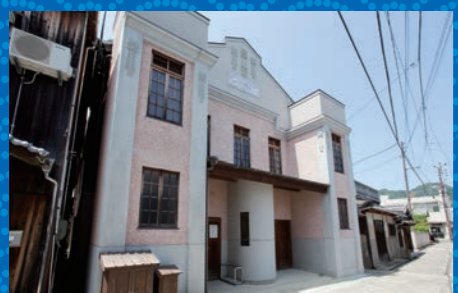
**B** 旧金子家住宅 有料  
町年寄・庄屋役の金子家(屋号三笠屋)が賓客接待のために建てた屋敷。茶室は上田宗箇流。慶應3年(1867)9月に広島藩と長州藩が挙兵の約定を結んだ場所。



**C** 若胡子屋跡 無料  
享保9年(1724)に広島藩の免許を受けたお茶屋(遊郭)の跡。一説には百人以上の遊女がいたという。往時をとどめる奥座敷は、屋久杉を使った贅沢な造り。



**D** 江戸みなとまち展示館 無料  
御手洗の成り立ちや当時の貴重な文物を展示した資料館。当地で没した俳人栗田樽堂の墨蹟や、幕末の志士の来島の記録など、興味深い資料が遺されている。



**E** 乙女座 有料  
昭和12年(1937)、御手洗の文化興隆のために町長が私財を投じて建設した劇場。戦後は映画館として親しまれたが、昭和40年代半ばに廃業した。平成14年復元。



**F** 七卿落遺跡 無料  
町年寄・庄屋役で、延岡藩の御用商人も務めた多田家(屋号竹原屋)の屋敷跡。元治元年(1864)、三条実美ら討幕派公卿が「禁門の変」で逃げ帰る際に逗留した。



### 拝観施設の利用案内

開館時間	午前9時～午後5時 (入館は午後4時30分まで)	
休館日	火曜日(祝日の場合は翌日) / 年末年始	
有料施設	旧金子家住宅* / 乙女座 (カッコ内は団体料金)	
入館料	一般	200(160)円
	高校生	120(90)円
	小・中学生	80(60)円
	呉市に在住・または呉市内の学校に通学する高校生及び小・中学生 <b>無料</b>	

\* 旧金子家住宅の平日見学は、事前に申し込みが必要です。  
連絡先 呉市文化スポーツ部文化振興課：Tel 0823-25-3463



**G** 天満神社  
平安時代、菅原道真が太宰府へ流される途中この地で手を洗ったため「御手洗」と名付けられた。奥の「菅公の井戸」の水は、書道上達の靈験があるという。



**H** 恵美須神社  
港の繁栄のために豊前国小倉から祭神を移したといわれる。御手洗で最も古い社。現在の本殿は元文4年(1739)に、拝殿は明和元年(1764)に再建されたもの。



**I** 満舟寺  
平安時代、平清盛が行基作十一面観音像を安置したという古刹。石垣は戦国時代の城跡で市文化財。境内には、俳人栗田樽堂の墓や芭蕉塚、亀跡墓などがある。



**J** 住吉神社  
広島藩が築いた大防波堤「千波子波止」の鎮守として、文政13年(1830)、大阪の豪商鴻池が本殿を寄進。「高燈籠」は庄屋金子忠佐衛門が同じく寄進したものだ。